

特別展内訳

名 称	期 間	小・中学生			高 校 生			一 般			合 計		
		個 人	団 体	計	個 人	団 体	計	個 人	団 体	計	個 人	団 体	計
第4回日展 鳥取展	4月7日 ～29日	人 2,172	人 6,900	人 9,072	人 1,060	人 5,088	人 6,148	人 13,320	人 1,806	人 15,126	人 16,552	人 13,794	人 30,346
郷土 美術展	9月30日 ～10月21日	2,002	3,790	5,792	326	1,138	1,464	4,288	463	4,751	6,616	5,391	12,007
世界 の展	〃												
計		4,174	10,690	14,864	1,386	6,226	7,612	17,608	2,269	19,877	23,168	19,185	42,353

II 博物館事業の概要

1. 常 設 展

常設展示を構成する資料表

区 分	実物資料 標 本 類	ジオラマ 機器模型類	カラー透視写真 および写真	図 板	計
地 学	672	22	13	28	735
生 物	1,186	5	31	37	1,259
考 古	578	3	6	22	609
民 俗	222		19	17	258
美 術	84			1	85
史 料	75		22		97
計	2,817	30	91	105	3,043

(1) 地学展示室 (258㎡)

- ・ 本県の地形と地質について各種の模型で展示。
- ・ 県内の地質時代のできごとの解説と岩石の偏光投影観察装置。
- ・ 各地質時代の化石（三葉虫、アンモナイトほか県内外の化石）。
- ・ 古生物を中心にした各地質時代の景観復元ジオラマ。七景。
- ・ 鉱物の特性の解説と分類展示と県内外の有用鉱物。
- ・ 温泉の地下地質と湧出する機構を示す模型。
- ・ 紫外線の照射による蛍光鉱物の発光実験。
- ・ 各種ウラン鉱物の展示と放射能測定の実験。
- ・ 砂丘と大山の地質的特徴とその生成発達の実験展示。
- ・ 化石、鉱物資料を新たに追加および入れ替えた。

(2) 生物展示室 (257㎡)

- ・ 大山と砂丘の生物の垂直及び水平分布とその特性。
- ・ 岩礁の生物の生態と分布のようす。
- ・ 中国山地に生息する主な動物をジオラマによって展示。
- ・ 頭足類、甲殻、魚類の分類展示。

- ・オオサンショウウオの卵から成体までの発育過程と飼育展示。
- ・鳥類を分類展示すると共に生態とさえずりを同時に視聴できる。
- ・本県産のけものをはじめ外国産の動物を展示。
- ・貝を生息環境により海産、陸産、淡水産に分類して展示。
- ・昆虫の分類展示（チョウ、ガ、甲虫、セミ、トンボなど）。
- ・茸、貝、植物などの資料を追加ないし入れ替え展示。
- ・植物の分類展示（樹幹、帰化植物、シダ植物、海藻など）

(3) 考古展示室（258㎡）

- ・縄文式土器、石製品、骨角製品の展示。
- ・弥生式土器、石製品、銅鐸などの展示。
- ・古郡家1号古墳などの一括資料の展示。
- ・県内の須恵器を時代ごとに分類展示。
- ・かまど三点セットなど生活用具の展示。
- ・しか、家、水鳥など県内出土の主なはにわの展示。
- ・銅鏡、各種玉類、武具、馬具などの展示。
- ・古廃寺出土の軒丸瓦・仏足。経塚出土の経筒などの展示。
- ・石馬の複製、古墳の模型、陶棺、はにわ円筒棺などの展示
- ・「古代の窓」県内遺跡の発掘調査の概要や遺物の入替え展示。
- ・古墳時代の出土品を中心に入れ替え展示。
- ・「古代の窓」に県内出土の子持勾玉と、壺形、カメ形土器等を紹介展示。



(4) 民俗展示室（257㎡）

- ・民家の復元……江戸末から明治時代にかけて分布した広間型農家の一部。
- ・芸能娯楽……人形芝居、きりん獅子、郷土玩具、影絵など県内の娯楽資料。
- ・生産用具……海女、機織、製紙、木地の用具とその活動を示す。
- ・灯 器……発生史的分類により変遷過程を示す。
- ・日 用 品……交易、化粧、食器、その他日用品の分類展示。
- ・つのだる……婚礼に使用された各種つのだるとほかい等。
- ・年中行事……県内の代表的行事の写真と資料を季節ごとに紹介。
- ・郷土玩具、灯器、日用の民俗資料を追加展示。
- ・「年中行事」として年2回、県内各地に傳承される行事を紹介展示。

展示日誌

- 4、1 考古、伯耆国分寺出土遺物品撤去
- 4、3 民俗「年中行事」ことの日、亥子、もひとり神事、盆踊り
幣祭り、虫送りのカラーコルトン展示
- 4、3 考古「古代の窓」県内出土の子持勾玉8点を展示
- 4、10 生物、サンコタケ、アカカゴタケ科など夏のキノコ類6点入れ替え展示
- 4、30 生物おさがめ（泊村産）剝製標本を追加
- 5、10 生物「5月の小鳥」愛鳥週間にちなんで野鳥、ポスターなどを45点を特別展示
- 5、16 地学、県内産鉱石炭酸マンガンほか6点を追加展示
- 5、16 考古、銅剣1点追加展示
- 5、16 民俗、郷土玩具、日用民具類7点を追加展示

- 5、17 生物、北方系貝標本4点追加展示
- 5、17 生物、おし葉標本の季節的入れ替え展示9点
- 5、17 民俗、きりん獅子頭、借用分返却、館資料と入れ替え
- 10、1 考古、経筒ほか2点、埋経資料入れ替え展示
- 10、15 考古、古墳出土品、短甲ほか、8点撤去
- 10、23 地学、サンゴ石灰岩（石灰紀）と宝石鉱物11点追加展示
- 10、23 生物、ライチョウ、カブトガニ追加展示
- 10、23 考古、鳥取市青島、開地谷、浜坂横穴の各遺跡出土品を追加展示
- 10、23 民俗、郷土玩具、張子面など、および灯器類5類追加展示
- 10、30 考古、「古代の窓」福市遺跡出土品壺形土器など24点を紹介展示
- 11、22 民俗「年中行事」とんど、鳥追い、歳徳俵など民俗行事を紹介展示

(5) 美術展示室 (313㎡)

- ・彫刻…平安時代以降の国・県指定の仏像を中心に展示。
- ・絵画…鎌倉・室町時代の仏画ならびに江戸時代の鳥取藩絵師の秀作を展示。
- ・工芸…平安時代以降の国・県指定の工芸資料ならびに江戸時代の本県にゆかりのある刀剣、陶磁器を展示。
- ・書 …香川景樹懐紙、短冊ならびに関係の資料を展示。

香川景樹資料 21件 4.24～ 5.9 因久山焼資料 8点 4.24～追加出陳
 蔵王権現立像（観照院蔵、49 2. 5～11. 5）



美術常設展示室 出品目録 ◎重要文化財 ○重要美術品 ●保護文化財

品名	時代	所有者	所在地	当館
◎ 重 木造 毘沙門天立像	平安	長楽寺	日野町	土方稻嶺 芦間潜鯉図(一幅) 江戸 当 館
◎ // // 蔵王権現立像	//	三仏寺	三朝町	// 群 鯉 図 一 双 //
◎ // // 千手観音立像	//	観音寺	大栄町	// 群 鶴 図 一 双 //
◎ // // 吉祥天立像	//	学行院	国府町	島田元旦 花鳥図 一 双 //
● 保 // //	//	毘沙門堂	鳥取市	黒田稲皐 双 鯉 図 軸 //
○ 美 鉄造 聖観音立像	鎌倉	加祥区	西伯町	片山楊谷 猛 虎 図 (三幅) //
○ // // 十一面観音立像	//	//	//	小畑稻升 双 鯉 図 //
● 保 木造 金剛界大日如来坐像	平安	永福寺	若桜町	根本幽峨 琴碁書画図(三幅) //
● // // 胎藏界大日如来坐像	//	//	//	島田元旦 画 帖 (一) //
// // 蔵王権現立像	鎌倉	観照院	岩美町	香川景樹 色紙、短冊等(九) //
// // 女神像	平安	三仏寺	三朝町	沖探容 画 帖 (一) //
● 保 銅製 擬宝珠(二)	鎌倉	地藏院	関金町	正瑞適処 耶馬溪図(一) //
● 保 青磁香炉	宋	//	//	根本幽峨 楼閣山水 一 双 //
● 保 銅製 鰐口	室町	清泉寺	国府町	飾太刀拵(二) // 梶谿神社 鳥
// // 梵鐘	平安	本願寺	鳥取市	因久山焼茶入(一) //
◎ 重 // 花綵鸚鵡文鏡	奈良	三仏寺	三朝町	// 香炉(一) //
釈迦十六善神像(三幅)	鎌倉	永雲寺	若桜町	// 大皿(二) //
般若十六善神像(一幅)	//	最勝寺	河原町	// 花瓶(一) //
般若十六善神像(一幅)	室町	転法輪寺	東伯町	// 茶碗(十三) //
十二天図像(十二幅)	室町	豊乗寺	智頭町	因実山焼重器(一) //

(6) 史料展示室 (111㎡)

史料部門の展示は、「鳥取池田家と参勤交替」(48年4月より49年1月まで)と「藩校尚徳館」(49年2月より9月まで)の2テーマであった。「藩校尚徳館」は展示期間の大半が49年度であるから、本報では「鳥取池田家と参勤交替」について報告する。

参勤交替は、徳川幕府の大名統制策として行なわれたが、他面、全国的な経済、文化の交流・発展を促したことも見のがすことができないなど、近世社会の展開に大きな影響をもった制度であった。展示は、4平ケースと1壁面で、史料とパネルをもって構成した。

- ・ 壁面 テーマ解説パネル、参勤交替路と宿駅の地図パネル、旧上方往来の渡し、茶屋本陣跡、旧道路などの写真パネルを展示
- ・ 1ケース 参勤交替の制度とそれにとまなう諸儀礼、儀式を示す史料として、武家諸法度、御国日記、
- ・ 2ケース 発駕にはじまる参勤・帰国の道中、大名行列に関する史料を中心に展示した。御登道中日記、御下り道中日記、因府録などである。
- ・ 3ケース 道中における宿泊、および参勤交替の経費の問題をとりあげた。宿泊は領内に設けられた茶屋本陣、とくに智頭御茶屋の平面図とそれにまつわる史料の写真を展示するとともに、参勤交替路であった上方往来(智頭往来)を占地図で示した。
池田家の参勤交替の費用はおよそ4、5千両におよぶが、それに藩士に支給する路銀等を加えると莫大なものになる。これを御帰国道中入用帳、御家中御定め等の史料で展示した。
- ・ 4ケース 帰国道中の途中で死去した11代藩主慶栄の事件を、御国日記からとりあげ、大名の長旅と不慮の事故、相続の問題を松平淡路守直清(西館)の仮養子願書で展示した。

◎新着資料の展示コーナーを新設

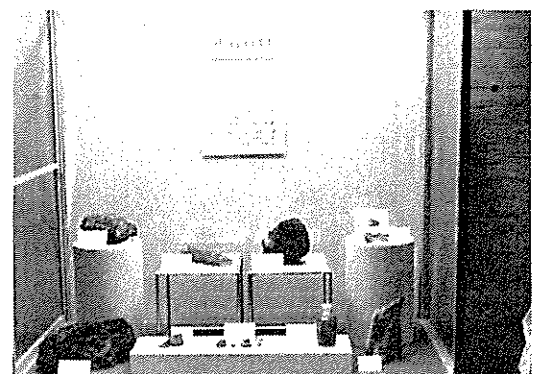
本年度より常設展示入口、ロビーの一角に新着資料の展示コーナーを新設した。新しく寄贈又は、採集購入した資料を逐次約1カ月単位で展示紹介した。

分野	テ マ	期 間	内 容
地学	寄贈された県産鉱物	4.3~5.4	方鉛鉱、軟マンガン鉱、たんぱん、人形石、灰鉄輝石、自然銅、沈殿銅 珪化木、燐灰ウラン鉱、煙水晶 10点
民俗	鳥根県の郷土玩具	5.5~5.31	張子虎 1点 今市人形 2点
生物	南海の美しい貝	6.1~7.2	リュウグウオキナエビス、ベニオキナエビス、タラチネボラ、ホロガイ、 ダイオウトウカムリ、ダントクメンガイ、イナズマコオロギ、ダンシャ クボラ、シマガンゼキ、ダイオウガンセキ 10点
地学	美しい鉱物	7.3~8.8	蛋白石、黄玉、貴電気石等宝石鉱物、らん銅鉱など色彩の鮮やかな鉱物
考古	水差型土器	8.9~9.3	水差型土器(岩吉出土の弥生式土器) 1点
地学	さんご石灰岩	9.4~10.8	古生代石炭紀のさんご化石
生物	珍しい小鳥	10.9~12.26	サンコウチョウ……本県での捕獲稀れ 2点 ヤマショウビン……本県捕獲初記録
民俗	道祖神のうま	12.27~2.4	わら馬(中山町逢坂、西伯町落合、日吉津村) 3点
生物	カワウソ	2.5~3.6	カワウソ
地学	鳥取平野地下の化石	3.7~4.3	貝類、植物、アナジャコ等県庁建設工事により掘り出された化石類30種

2. 特 別 展 (館主催)

(1) 第4回日展鳥取展

主 催 鳥取県・鳥取県教育委員会・鳥取県立博物館
会 期 昭和48年4月7日(土)~4月29日(日)



会場 第1展示室（日本画）第2展示室（洋画）第3展示室（彫塑・書）美術展示室（工芸美術）

入館者 30,346人（有料）

入館料 一般 350円（団体 250円）高校生 200円（団体 100円）小・中学生 100円（団体 50円）

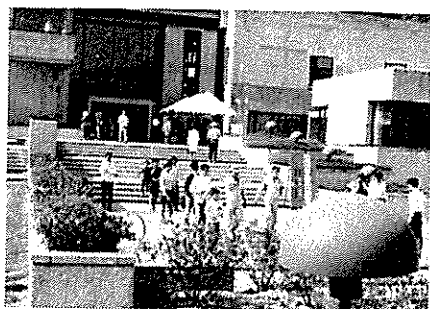
明治40年に第一回文部省美術展覧会（文展）が、日本画、西洋画、彫塑の三部制で開催されてから、帝展、日展と再三の改組、改称が行われた。このたびの鳥取展は、昭和44年に改組された第4回目展である。日本画、洋画、彫塑、工芸美術、書の5科からなり、東京展で展示された2,157点のうちから、選ばれた理事、評議員、会員、特選者等の基本作品353点と、地元出身作家の作品20点を併せた計373点を展示した。

（地元出身作家は、鳥取県、島根県出雲地方在住者並びに鳥取出身の県外在住者で、基本作品以外のものをいう。）

日本画（第1展示室）

1	青	い	実	（評・審）	三	谷	十糸子	東京	
2	白		韻	（評・審）	下	保	昭	京都	
3	虹	立	つ	（理・審）	麻	田	辨次	京都	
4	五	百	羅	漠	（評）	大	山忠作	東京	
5	浄		池	（評・総）	猪	原	大華	京都	
6	聖		禽	（評）	濱	田	台兒	東京（気高町出身）	
7	遠	い	ヒ	マ	ラ	ヤ	（前理）	山田申吾	東京
8	夢		殿	（理）	佐	藤	太清	東京	
9	囁			（評）	池	田	遙邨	京都	
10	樹	林	富	士	（前理）	西	山英雄	京都	
11	霜		瀑	（前理・審）	奥	田	元宋	東京	
12	喜	雀	春	光	（評）	望	月春江	東京	
13	坐	す	人	（理）	高	山	辰雄	東京	
14	曆			（理）	杉	山	寧	東京	
15	白	馬	の	森	（理）	東	山魁夷	千葉	
16	1	本	の	木	（顧）	小	野竹喬	京都	
17	深		秋	（理）	山	口	華楊	京都	
18	雨	が	降	っ	て	（理・審）	森田沙伊	東京	
19	古	壺	再	び	（理）	濱	田	観	京都
20	マ	ン	ゴ	ー	の	女	（理・審）	三輪晁勢	京都
21	神		妃	（監）	岩	田	正己	東京	
22	雪	静	か	（顧）	川	崎	小虎	東京	
23	富		士	（遺・顧）	野	田	九浦	東京	
24	蒼			（評・審）	加	藤	東一	神奈川	
25	南	吹	く	（評）	加	倉	井和夫	千葉	
26	煌			（評）	浦	田	正夫	東京	
27	湿	原	の	夏	（評）	川	本末雄	東京	
28	凧			（会）	松	浦	満	東京	
29	翳			（会）	中	野	蒼穹	埼玉	
30	秋	立	つ	（評）	梶	原	緋佐子	京都	

31	寥	(会)	東	韶	光	東	京
32	叢	(審)	稲	和	正	京	都
33	カーテンのある一隅	(会)	池	道	夫	京	都
34	黒いベンチ	(会)	高	義	夫	東	京
35	十津川峡	(会)	宇	裕	彦	東	京
36	紅がく	(会)	望	定	夫	神	奈
37	緑のふる里	(会)	川	崎	鈴	東	京
38	正倉院	(特)	山	崎	忠	東	京
39	花	(審)	黒	光	茂	京	都
40	沢	(特)	正	井	和	京	都
41	昇	(会)	小	栗		東	京
42	母	(特)	中	尾	英	東	京
43	響く	(会)	岩	沢	重	京	都
44	華	(会)	杉	原	元	千	葉
45	十三湖秋霖	(評)	村	山		東	京
46	十二	(会・審)	山	口	吉三郎	東	京
47	檻の前で	(評)	堂	本	元次	京	都
48	曙	(評)	曲	子	光男	京	都
49	掌	(会・審)	白	鳥	映雪	東	京
50	雨の窓	(特)	永	山	十志夫	東	京
51	晩	(審)	川	崎	十春	東	京
52	孤島の朝	(会)	佐	藤	園夫	東	京
53	静	(会)	澤	野	文臣	東	京
54	晶	(会)	久保	田	魁	東	京
55	咲	(会)	立	石	春美	千	葉
56	オペラ座	(会)	羽	根	万象	神	奈
57	粧	(会・審)	加	藤	晨	東	京
58	聳	(会)	山	岸		東	京
59	森	(特)	山	崎	隆夫	京	都
60	ローマの噴水	(会)	堂	本	阿岐羅	京	都
61	柳	(特)	岩	倉		京	都
62	オモロ (沖繩)	(評)	村	松	乙彦	東	京
63	道	(評)	嶋	谷	自然	愛	知
64	飛	(会)	秋	葉	長生	東	京



65	刈	田	(評)	山	本	倉	丘	京 都		
66	生	き	る	(特)	能	島	和	明	神奈川	
67	翳			(会)	河	合	健	二	京 都	
68	和	具	の	女	(特)	松	本	栄	東 京	
59	暁		光	(評)	鈴	木	竹	柏	神奈川	
70	潮		風	(会)	畠	山	錦	成	東 京	
71	朝	の	聖	堂	(会・審)	山	本	知	克	京 都
72	夏		日		利	倉	喜	久	子	京 都 (鳥取県出身)
72	昏				寺	島	節	朗		京 都 (鳥取県出身)
74	京		舞	(会)	勝	田		哲		京 都
75	朝	の	海	(会)	矢	野	鉄	山		大 阪

西洋画 (第2展示室)

1	イル・ド・フランス		(委)	内	山		孝		東 京	
2	ひるがおの咲く風景		(無)	国	領	経	郎		神奈川	
3	燈		煌	(委)	菊	池	健	藏	東 京	
4	回 転 木 馬		(特)	渡	辺		晋		千 葉	
5	ロ ッ ジ の 散 歩		(特)	円	地	信	二		石 川	
6	メ ト ロ の 楽 土			木	村	福	太	郎	岡 山	
7	影		(無)	森			勇		愛 知	
8	古 都 の 秋			桐	生	照	子		神奈川	
9	平		安	(評)	伊	藤	清	永	東 京	
10	天 使 園 暮 色		(特)	本	山	唯	雄		東 京	
11	バルト海の島にて		(委)	浮	田	克	躬		東 京	
12	姉		妹	(会)	平	松		護	東 京	
13	夕 日 観 音		(評)	堀	田	清	治		東 京	
14	雄 鷄 群		(委)	清	原	啓	一		東 京	
15	雪 の 当 麻 寺		(評)	檜	原	健	三		東 京	
16	フ ー ド の 女		(理・審)	高	光	一	也		石 川	
17	旧サンマルコ寺院		(審・評)	西	山	真	一		東 京	
18	椿 咲 く		(会)	大	内	田	茂	士	東 京	
19	横 臥 母 子		(会)	柳	瀬	俊	雄		東 京	
20	勢		至	(会・審)	田	原		輝	東 京	
21	水 門 の ある 運 河		(委)	日	野	耕	之	祐	東 京	
22	若		葉	(評)	新	保	兵	次	郎	東 京
23	わ か め 下 す 浜		(評)	笹	鹿		彪		東 京 (米子市出身)	
24	6 月 の 花		(評・審)	渡	辺	浩	三		東 京	
25	水 辺 野 草		(参)	小	寺	健	吉		東 京	
26	家		族	(理)	中	村	琢	二	神奈川	
27	浅 間 山 夕 月		(理)	小	山	敬	三		神奈川	
28	東 天 彩 雲		(前理)	田	村	一	男		東 京	
29	画 室 に て		(評)	田	中	繁	吉		東 京	

30	19世紀の紳士	(評)	岡田	又三郎	東京
31	秋晴	(顧)	三上	知治	東京
32	奥日光	(遺・顧)	大久保	作次郎	東京
33	赤松	(理・審)	佐竹	徳	東京
34	小憩	(顧)	長谷川	昇	東京
35	早春(志摩)	(顧)	辻	永	東京
36	桜島	(理・審)	田崎	広助	東京
37	舞	(理)	鬼頭	鍋三郎	愛知
38	牡丹	(評)	鈴木	千久馬	東京
39	薔薇	(顧)	耳野	卯三郎	東京
40	座	(理)	森田	茂	東京
41	松	(理)	新道	繁	東京
42	雪朝	(評)	胡桃沢	源人	大阪
43	高原の花	(遺・評)	大沢	海蔵	東京
44	緑の樹	(遺・評)	土佐林	豊夫	東京
45	花の雨	(会)	舟木	徳重	東京
46	夏	(会)	菅谷	邦敏	東京
47	ホルン奏者N君	(会)	庄司	栄占	東京
48	爆雲桜島	(評)	藤本	東一良	東京
49	じゃがたら文	(評)	笹岡	了一	千葉
50	白秋	(前理)	中村	善策	東京
51	若い女	(評)	江藤	純平	東京
52	海辺の花畑	(評)	高田	誠	埼玉
52	管弦祭	(理・審)	井手	宣通	東京
54	鳩聚	(会・審)	桜田	精一	千葉
55	ドミニック像	(評)	山田	新	京都
56	裸婦	(評・総)	村岡	平蔵	東京
57	山湖	(評)	辻	朗	東京
58	紫陽花	(評・審)	緒方	亮平	東京
59	奥日光残雪	(評)	山下	忠平	東京
60	冬の山河	(会)	真下	慶治	茨城
61	丘	(会)	深谷	徹	東京
62	雪景展望	(無)	塗師	祥一郎	埼玉
63	緑のムウム	(会)	大島	士一	東京
64	午後の町	(委)	村田	省蔵	東京
65	静夜の歌	(委)	田中	春弥	東京
66	埴輪と木の実	(委)	井上	和	東京
67	白壁の家	(会)	大津	鎮雄	東京
67	セラフィム	(会)	小川	博史	愛知
69	初夏	(評)	安宅	厩雄	神奈川
70	棟梁の像	(評)	辻村	八五郎	埼玉

71	菖蒲園にて	(会)	江藤	哲	神奈川
72	蒼い岬	(会・審)	菅野	矢一	東京
73	静物	(評・審)	安藤	信哉	東京
74	赤いサリー	(委)	田中	実一	東京
75	鳩と仁王	(会)	大沼	静巖	東京
76	春昼(東大寺大湯屋)	(会)	刑部	人	東京
77	舞子立姿	(委)	寺島	龍一	東京
78	炉ばたの人	(評)	福田	新生	東京
79	並木のある堀割	(評)	渡辺	武夫	埼玉
80	磯	(評)	倉員	辰雄	東京
81	ペテロとパウロの窓	(会・審)	川口	雄男	神奈川
82	入の江の聖堂	(会)	石本	秀雄	佐賀
83	松江姉様		井上	隆慶	島根
84	浜	(会)	広瀬	功	神奈川
85	凧	(特)	山田	茂人	神奈川
86	軍鶏	(委)	時田	幸彦	千葉
87	迎春	(委)	上島	一司	奈良
88	朝市	(特)	筒井	博	東京
89	シューンソーの薔薇	(会)	西村	愿定	東京
90	想卓	(委)	寺坂	公雄	東京
91	佳き日	(無)	秋元	清弘	東京
92	洪水夕映		矢田	清四郎	島根
93	十六夜	(会・審)	幸嶋	重雄	愛知
94	踊子たち	(評)	平通	武男	兵庫
95	静物	(会・審)	高橋	庸男	東京
96	青年像	(会)	山本	日子七良	東京
97	道化師の家族	(会)	阪倉	宜暢	東京
98	西洋人形	(評)	朝比奈	文雄	東京
99	メランコリー	(会)	浅井	光男	愛知
100	ガードの近く	(特)	中村	一郎	岡山
101	ニースの広場	(無)	野田	健郎	熊本
102	売店	(会)	中谷	龍一	神奈川
103	古風な手風琴	(会)	杉村	惇	宮城
104	連嶺晩秋	(参)	奥瀬	英三	埼玉
105	早春山村	(評)	納富	進	東京
106	津軽の祭典	(会)	奈良岡	正夫	東京
107	ミサ聖祭		春日	為義	島根
108	千疊閣の絵馬		高須	登	鳥取
109	運河の午後	(特)	越後島	芳明	神奈川
110	北の漁村	(無)	葛西	四雄	東京
111	出漁(瀬戸内漁港)	(委)	尾崎	正章	山口

112	開扉	(特)	奥山藤	一	京都
113	黒の窓	(委)	樽松正	利	東京
114	馬仔の親		有馬	侃	根島
115	城	(委)	梅津	五郎	東京
116	美術部	(委)	西岡	義一	京都
118	白い花の咲く頃	(会)	辻	利平	大阪
118	イスラムの街	(会・審)	山口	猛彦	東京
119	トレド風景	(会)	日原	晃	岡山
120	夏の海	(会)	西尾	善積	東京
121	青嵐の窓	(参)	有馬	三斗枝	東京
122	琉球踊	(会)	岩下	三四	鹿児島
123	三月堂仏像	(会)	松田	忠一	大阪
124	大山高原への道		湯浅	栄一	根島
125	婦人像	(委)	柳沢	淑郎	東京
126	めざめ	(委)	桜井	慶治	東京
127	燈台の島		成田	禎介	神奈川
128	レストランにて		武安	芳男	東京
129	寒風	(会)	不破	章	東京
130	若い人	(委)	田中	実	埼玉
131	霞ヶ浦	(前理)	小堀	進	東京
132	孫との像	(評)	荒谷	直之介	千葉
133	華と埴輪(木版)	(委)	馬淵	聖	神奈川

彫塑(第3展示室)

1	すべてを愛す	(理)	藤野	天光	千葉
2	眺望	(無)	斉藤	高德	東京
3	風韻	(特)	柴田	篤男	京都
4	生きがい	(特)	山本	真輔	愛知
5	爽		入江	甲	鳥取
6	華	(特)	平原	孝明	宮崎
7	平和	(特・無)	石田	康夫	石川
8	聖説	(会)	長江	録弥	神奈川
9	黒耀	(特)	内堀	功	東京
10	涼	(評・審)	宮本	光庸	東京
11	すわる	(評)	山本	稚彦	東京
12	砂	(審)	鈴木	基弘	愛知
13	フォルム1	(評・文)	三坂	耿一郎	東京
14	バイソン	(評・審)	伊藤	芳雄	神奈川
15	二相一如	(評・審)	瀬戸	団治	東京
16	りんどう	(会)	橋本	次郎	東京
17	虹のほとり	(会)	佐藤	義重	東京
18	親仔	(特・無)	武部	豊	富山

19	珠		海	(審)	横	山	豊	介	富	山				
20	若	い	女	(特)	吉	野	康	彦	崎	玉				
21	紅		河	(評)	和	田	金	剛	東	京				
22	憶			(会)	雨	宮	敬	子	東	京				
23	は	つ	雁	抄	(評)	水	船	六	東	京				
24	傾		示	(理)	中	川		清	東	京				
25	白		光	(評・審)	短		幸	成	石	川				
26	静		観	(理・審)	北	村	治	禎	東	京				
27	発		掘	(理・審)	圓	鏝	勝	三	神	奈				
28	裸		婦	(理・審)	清	水	多	嘉	東	京				
29	ホ	ー	ズ	する	乙	女	(理・審)	松	田	尚	之	京	都	
30	熱		風	(会長)	北	村	西	望	東	京				
31	農	場	の	朝	(理)	占	賀	忠	東	京				
32	韻			(理)	晝	間		弘	東	京				
33	裸		婦	(評)	占	川	順	三	東	京				
34	裸		婦	(評)	木	下		繁	東	京				
35	笛	を	吹	く	女	(会)	吉	田	鎖	雄	愛	知		
36	秋	の	女	(会・審)	中	村	青	田	東	京				
37	青	年	の	詩	(評・審)	伊	藤	五	百	龜	東	京		
38	ふ	え	を	楽	し	む	娘	荒	木	文	夫	東	島	根
39	大	地	の	香	(評)	佐	藤	助	雄	東	京			
40	潮		流	(会)	神	野	義	衛	千	葉				
41	お	も	が	え	り	(会・審)	平	野	敬	吉	東	京		
42	つ	ど	い	(会)	長	谷	川	塊	記	東	京	(鳥取市出身)		
42	佇			(委)	山	本	民	二	東	京				
44	爽			(評)	分	部	順	治	東	京				
45	薫		風	(評)	進	藤	武	松	東	京				
46	瞭			(特)	圓	鏝	元	規	神	奈				
47	イ	ス	ラ	ム	の	女	達	(評)	富	永	直	樹	東	京
48	黙			(会・審)	高	藤	直	鎖	夫	愛	知			
49	倚		る	(評)	大	須	賀	力	千	葉				
50	幕	間	の	語	ら	い	(審)	占	賀	晟	高	東	京	

工芸美術 (美術展示室)

1	「漆」	化石	の	譜	(評)	横	山	白	汀	富	山		
2	紫	紅	窯	壺	(評)	宮	下	善	寿	京	都		
3	和	紙	作	品	開	展	(特)	加	納	俊	治	愛	知
4	方				(評)	浅	見	隆	三	京	都		
5	陽	の	芯	(特)	服	部	俊	夫	京	都			
6	或	る	ペ	ー	ジ	(特)	川	井	小	由	女	東	京
7	天	空	え	の	招	待	(理)	帖	佐	美	行	東	京
8	燦			光	(評)	吉	賀	大	眉	山	口		

9	九	月	(審)	伊	藤	裕	司	京	都
10	荘	玄	(会・審)	村	田	吉	生	京	山
11	鑄銅花生	(嚴厲)	(評)	丸	谷	端	堂	東	京
12	噴煙の島		(評)	佐	野	猛	夫	京	都
13	白	牙	(評)	鈴	木	青	々	愛	知
14	天宙の記		(理・審)	高	橋	節	郎	東	京
15	金彩雷神		(理・審)	山	脇	洋	二	東	京
16	朱銅壺あすか道		(理・審)	蓮	田	脩	吾郎	神奈川	
17	寂	夜	(前理)	佐	治		正	千	葉
18	白磁花鉢		(評・文)	井	上	治	男	京	都
19	牛		(理・審長)	山	崎	覚	太郎	東	京
20	秋	映	(理・審)	清	水	六	兵衛	京	都
21	手織綿壁掛アナナス群華		(顧)	山	鹿	清	華	京	都
22	釉裏紅魚文		(理)	楠	部	弥	弋	京	都
23	双	象	(理)	番	浦	省	吾	東	京
24	炬器花挿		(監)	安	原	喜	明	東	京
25	蝶の宴		(前理)	大須賀			喬	東	京
26	彩光釉扁壺		(理・審)	森	野	嘉	光	京	都
27	巖	洞	(評)	青	木	滋	芳	千	葉
28	斑鳩の飛天		(評)	大	坪	重	周	東	京 (鳥取市出身)
29	伸		(審)	安	田	全	宏	京	都
30	染彩共鳴		(前理)	皆	川	月	華	京	都
31	青い裾野		(理・審)	般	若	侑	弘	東	京
32	芽	囊	(理)	山	室	百	世	東	京
33	人間連作の15「人知らず」		(前理)	辻		光	典	東	京
34	象嵌地陶壺(ゴールデンモスク)		(理)	宮	之	原	謙	千	葉
35	木芸快雄パネル		(評)	横	山	一	夢	富	山
36	羽	衣	(評)	岩	田	久	利	東	京
37	落日の湾			上	田	泰	江	鳥	取
38	Work 72- 10- 2		(特)	安	原	喜	孝	東	京
39	眞畫の杜		(評)	三	井	安蘇	夫	東	京
40	韻	律	(評)	中	村	翠	恒	石	川
41	方	盤	(審)	西	川		實	京	都
42	神	像	(会・審)	宮	田	宏	平	東	京
43	花	容	(会・審)	大	樋	年	郎	石	川
44	対話の夢		(特)	浅	藏	與	成	石	川
45	煌		(評)	山	本	正	年	千	葉
46	ひまわり		(特)	清	水	正	次	京	都
47	ボア・デボア		(特)	永	井	鐵	太郎	神奈川	
48	碧	容	(会・審)	加	藤	舜	陶	愛	知
49	昇る	日		南		祥	輝	京	都 (鳥取県出身)

50	朧銀滄浪の壺	(評)	染川	鉄之助	東京
51	モスクワ聖ヴァシリー寺院	(評)	皆川	泰蔵	京都
52	加賀象嵌方壺	(評)	高橋	介州	石川
52	階段の譜二曲屏風	(評)	小松	芳光	石川
54	蒼	(評)	新開	寛山	京都
55	順	(特)	赤堀	郁彦	神奈川
56	「三人姉妹」彫金壺	(評)	宮坂	房衛	東京
57	カトマンズの朝	(会・審)	三橋	国民	東京

書 (第3展示室)

1	雲	(評)	印南	湊龍	東京
2	夜蛩挾砌響輕蛾逸燭飛	(特)	藤澤	和卿	埼玉
3	虚子の句	(評)	飯島	春敬	東京
4	替腹不移	(評)	梅	舒適	大阪
5	王維詩	(評・文)	天石	東村	和歌山
6	擊竹	(会・審)	小暮	青風	千葉
7	瓠巴鼓瑟而沈魚出聽	(評)	小林	斗盒	埼玉
8	やま	(評)	西谷	卯木	兵庫
9	万葉歌	(評・審)	宮本	竹逕	大阪
10	停雲	(評)	松丸	東魚	東京
11	王綱詩句	(評)	小坂	奇石	大阪
12	禅語	(評)	廣津	雲仙	兵庫
13	本のしづく抄	(評)	田中	塊堂	大阪
14	翔鸞	(理)	金子	鷗亭	東京
15	盛	(前理)	松井	如流	東京
16	土屋竹雨の詩	(前理)	山崎	節堂	神奈川
17	大道無門	(前理)	炭山	南木	大阪
18	偶成(自詠)	(遺・参)	松本	芳翠	東京
19	狂獯	(理)	西川	寧	東京
20	雪見	(理・審)	日比野	五鳳	京都
21	魯を望む	(理・審)	青山	杉雨	東京
22	有縁	(理・審)	村上	三島	大阪
23	敏馬	(前理)	桑田	笹舟	兵庫
24	菩薩	(評)	金田	心象	東京
25	曉露	(評・審)	大石	隆子	東京
26	淪溺	(評)	赤羽	雲庭	東京
27	趙松雪句	(評)	鈴木	汪亭	東京
28	皇都名勝詩五首	(評)	殿村	藍田	神奈川
29	大千	(評)	保多	孝三	東京
30	李賀詩	(評)	木村	知石	兵庫
31	雁はゆく	(参)	熊谷	恒子	東京
32	超我	(評・審)	生井	子華	茨城

33	Y 頭 作 媒	(評・審)	今 井 凌 雪 奈 良
34	占 歌	(評)	森 田 竹 華 東 京
35	千 擧 萬 變 其 道 不 窮	(評)	森 田 緑 山 京 都
36	万 葉 の 歌	(評)	松 下 芝 堂 愛 知
37	建	(会・審)	戸 田 提 山 愛 知
38	素 車 白 馬		前 田 長 春 東 京 (鳥取県出身)
39	野 ぎ く	(評)	今 関 脩 竹 東 京
40	高 青 丘 之 詩		国 谷 蒼 月 島 根 (鳥取県出身)
41	人 山 雑 言 顧 寧 詩		西 駕 龍 洞 鳥 取
42	夏 の 日		山 本 松 影 大 阪 (鳥取県出身)
43	千 五 百 秋		林 光 枝 大 阪 (鳥取県出身)
44	李 賀 詩		船 原 伯 雲 鳥 取
45	久 方 の		西 尾 獅 峰 兵 庫 (鳥取県出身)
46	万 葉 歌	(特)	東 山 逸 廬 東 京
47	九 穀 斯 豊	(特)	新 井 光 風 東 京
48	信 楽 の 里	(特)	浅 井 素 堂 京 都
49	豊 昌	(特)	鶴 木 大 寿 富 山
50	霓 裳 羽 衣 歌	(特)	西 奥 鳴 琴 大 阪
51	龍 馬	(特)	稻 垣 松 圃 愛 知
52	蘇 軾 の 詩	(特)	藤 岡 都 逕 奈 良
53	杜 甫 詩	(審)	小 出 聖 水 長 野
54	わ か の 浦	(審)	伊 藤 鳳 雲 大 阪
55	詩 経	(会・審)	井 垣 北 城 東 京
56	高 青 郊 詩 江 上 晚 晴	(審)	尾 崎 邑 鵬 大 阪
57	野 艸 幽 華	(会・審)	中 野 蘭 崎 愛 知
58	山	(審)	大 平 山 涛 東 京

(2) 郷土美術展 (開館一周年記念)

主 催 鳥取県立博物館

会 期 昭和48年9月30日(日)～10月21日(日)

会 場 第1展示室(日本画)、第3展示室(日本画)
美術展示室(洋画)

入館者 12,007人(有料)

入館料 一般100円(団体80円)高校生60円(団体40円)

小・中学生40円(団体20円)

(世界の蝶展と共通)

開館一周年を記念して、郷土にゆがりのある近世、近代絵画の代表的な物故作家の作品を展示した。

展示内容

第1展示室

中島菜刀	1902(明治35)―1955(昭和30)
1 樹下青嵐	紙本著色 二曲一双
2 麒麟獅子	〃 四曲一双
3 雲雀の巢	絹本著色 一幅
4 諏訪神社	絹本墨絵 〃
5 戦場ヶ原	紙本著色 〃
6 法隆寺秋景	〃 額
7 芭蕉庵詩仙堂	〃 六曲一双
毛利秋晃	1898(明治31)―1949(昭和24)
8 多鯨ヶ池	紙本著色 一幅
9 鯛	〃 〃
八百谷冷泉	1887(明治20)―1959(昭和34)
10 奥瀨峡	絹本著色 一幅
11 投入堂秋景	〃 〃
12 大波濤	紙本著色 襖十六面
13 鯛	絹本著色 一幅
14 白馬山奇勝	〃 〃
15 大山紅葉	〃 〃
16 木枯	〃 〃
17 投入堂	〃 〃
18 雪松図	〃 〃
19 白縫瀧	〃 〃
小畑稻升	1812(文化9)―1886(明治19)
20 群鯉図	絹本墨絵 一幅
21 遊鯉図	紙本墨絵 二曲一隻
22 群鯉図	〃 一幅
23 月下之飛鯉	紙本著色 〃

第3展示室 (日本画)

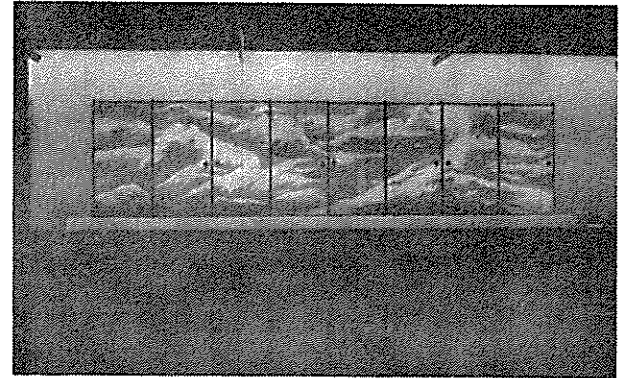
根本幽峨	1824(文政7)―1867(慶応3)
1 小松引	絹本著色 二幅対
2 楼閣山水図	紙本著色 六曲一双
3 三顧図	絹本著色 三幅対
4 楼閣山水図	紙本著色 六曲一双
5 夏冬山水図	紙本墨絵 二幅対
6 淡青緑山水人物図	絹本著色 一幅

正 墻 適 処	1818(文政1)―1875(明治8)
7 山水図	絹本墨絵 一幅
8 夏冬山水図	紙本墨絵 二幅対
9 吉野松島図	〃 六曲一双
船越寛一	1802(享和2)―1864(文久4)
10 寿老図	絹本墨絵 一幅
11 笛僂之図	〃 〃
冲九臯	1841(天保12)―1911(明治45)
12 三社詣	絹本著色 三幅対
三枝真洞	1840(天保11)―1868(慶応4)
13 春夏秋冬	紙本著色 四幅対
14 春園晓露	〃 一幅
15 草花図	〃 二幅対
塔 然	1796(寛政8)―1861(文久1)
16 龍頭観音	三幅対

美術展示室 (西洋画)

森岡柳蔵	1878(明治11)―1961(昭和36)
1 風景	10号
2 風景	10〃
3 肖像	6〃
4 風景	4〃
遠藤董	1853(嘉永6)―1945(昭和20)
5 清水参五郎像	15号
6 鳥取城	4〃
安岡信義	1888(明治21)―1934(昭和9)
7 風景	4号
8 夏の河岸	12〃
9 蓮	30〃
10 杖をもつ男	12〃
11 裸婦習作	30〃
松田晃八	1894(明治27)―1965(昭和40)
12 夏泊の海	30号
13 砂丘	60〃
14 山王の森	80〃
15 夏泊の岩	50〃
16 青い岩	50〃
17 風景	50〃

中 井 金 三	1883(明治16)―1969(昭和44)	木 山 義 喬	1885(明治18)―1951(昭和26)
18 大山 滝 雪 景	25号	28 花	10号
19 竹 島	25々	29 青 衣 の 女	30々
20 橋 津 風 景	50々	30 男 の 像	25々
21 七 類 海 岸	30々	31 風 景	15々
22 鳥のある 静物	12々		
23 バ ラ	8 々		
24 笹 百 合	10 々		
国 頭 繁 次 郎	1916(大正5)―1969(昭和44)		
25 石 の 顔	20号		
26 石 馬	100 々		
27 石 馬	100 々		



(3) 世界の蝶展

主 催 鳥取県立博物館

会 期 昭和48年9月30日(月)～10月21日(日)

会 場 第2展示室

入館者：入館料(郷土美術展と同時開催のため共通)

世界各地の代表的な蝶を集め、各動物地理区分に従って、分類展示するとともに、その優美な形や色彩、擬態変異を紹介するとともに、人間生活とのかかわりあいにもふれた。

展示内容

1. 世界各地の蝶

- 寒い地方を代表するユーラシアの蝶
アポロウスバシロチョウ、タイスアゲハなど……………100点
- ユーラシア大陸とつながる北アメリカの蝶
オオトラファゲハ、ウスバキチョウなど……………100点
- 美しさを誇る中南米の蝶
シロオビドクチョウ、キプリスモルフォなど……………200点
- 世界最大の蝶がすむオーストラリア区の蝶
アレクサンドラアゲハ、メガネアゲハなど……………120点
- 変化に富んだ東南アジアの蝶
アカエリトリバネアゲハ、カギバアゲハなど……………350点
- 独特の斑紋を持つアフリカの蝶
ドルーリーオオアゲハ、ザルモクシスオオアゲハなど……120点
- 日本各地の蝶
オオムラサキ、ギフチョウ、キマダラルリツバメなど……200点
- 護身術を身につけた蝶
コノハチョウ、メスアカムラサキなど……………400点



アゲハチョウの系統

オレゴンアゲハ、イランアゲハなど…………… 15点

・世界最大と最小の蝶

アレクサンドラアゲハ、ホリイコシジミ…………… 4点

2. 蝶の化石ほか

日本唯一の蝶化石・昆虫化石…………… 30点

3. 世界の蝶切手

世界78か国の蝶切手…………… 700点

4. 蝶の紋章

郷土の蝶をあしらった紋章…………… 10点

5. 蝶の民芸品

テーブルクロス、額縁など…………… 5点

6. 蝶の鱗粉投影

(4) 美術資料館蔵品展

主 催 鳥取県立博物館

会 期 昭和48年7月31日(火)～8月19日(日)

会 場 第3展示室

入館者：入館料 通常展の料金

当博物館の開館を記念して寄贈された絵画並びに県庁、県議会事務局、鳥取県立鳥取図書館から、移管された美術資料を公開した。

展示内容

No.	作 者	生没年	題 名	制作年	寸 法	備 考
1	土 方 稻 嶺	1741—1807	雲竜図(双幅)		134×57	石谷貞彦氏 寄贈
3	〃	〃	芦間潜鯉図		87.5×110	圓井 潔氏 寄贈
4	鳥 田 元 旦	1778—1840	秋景山水図		220×110	鳥取北ロータリークラブ 寄贈
5	三 枝 貞 洞	1840—1868	春園曉露		125×54	宮脇直一氏 寄贈
6	菅 橋 彦	1878—1963	神倉秋景	昭和37	158×97	鳥取県庁舎落成記念に大阪 鳥取県友会より鳥取県に寄贈されたもので、鳥取県庁より移管
7	濱 田 台 児	1916—	海 女	昭和37	196×148	濱田台児氏 寄贈
8	和 田 英 作	1874—1959	婦 人 像	明治44	10号	鳥取県立鳥取図書館より移管
9	久 米 福 衛	1882	少 年 像	大正4	20号	〃
10	藤 井 禎三郎		俳	明治41	4号	〃
11	安 岡 信 義	1888—1934	夏 の 河 岸	明治44	12号	〃
12	〃	〃	杖をもつ男	大正2	12号	〃
13	遠 藤 董	1853—1945	清水参五郎の像	明治13	15号	〃
14	伊 谷 賢 藏	1902—1970	立石山早春	昭和30	60号	鳥取信用金庫 寄贈
15	〃	〃	クスコの朝市	昭和43	60号	鳥取ガス株式会社 寄贈
16	〃	〃	裏大山晩秋	昭和44	25号	鳥取信用金庫 寄贈
17	〃	〃	大 山 秋 色	昭和23	12号	鳥取県議会事務局より移管
18	香 田 勝 太	1885—1946	小 庭	明治41	4号	鳥取県立鳥取図書館より移管

19	香田勝太	1885—1946	初雪	大正6	120号変	鳥取県議会事務局より移管
20	前田寛治	1896—1930	立てる子供	大正11	50号	日本海テレビ放送 寄贈
21	〃	〃	男の像	大正13	50号	株式会社熊谷組 寄贈
22	〃	〃	仰臥裸婦	昭和2頃	80号	山陰合同銀行 寄贈
23	〃	〃	西洋婦人像	大正14頃	30号	鳥取銀行 寄贈
24	〃	〃	裸婦習作	昭和2	20号	鳥取県立鳥取図書館より移管
25	松田晃八	1894—1965	雨後の久松山	昭和30頃	15号	〃
26	〃	〃	山王の森	昭和33	80号	株式会社日建設計 寄贈
27	尾崎悌之助	1910—	ノートルダム	昭和36	50号	尾崎悌之助氏 寄贈
28	〃	〃	寒村雪景	昭和44	80号	日本海テレビ放送 寄贈
29	笹鹿彪	1901—	プロメテ	昭和36	80号	鳥取県庁舎落成記念に東京鳥 取県人会より鳥取県に寄贈されたもので、鳥取県庁より移管
30	〃	〃	帆を干す	昭和47	100号	笹鹿彪氏 寄贈
31	浜田宜伴	1900—	戦時少年像	昭和120	30号	鳥取県立鳥取図書館より移管
32	ロタン(複製)		青銅時代		高さ174	鳥取県庁より移管

3. 館外主催展

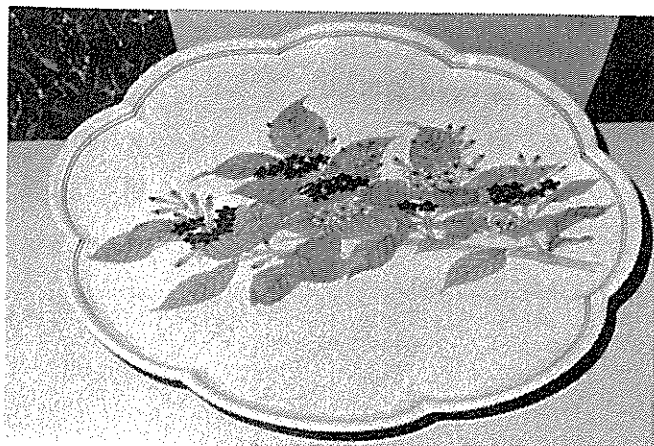
(1) 日本伝統工芸秀作展

主催 日本伝統工芸秀作展鳥取展実行委員会
鳥取県教育委員会、鳥取県立博物館、日本工芸会
会期 昭和48年5月8日(土)～5月21日(日)
会場 第1展示室

昭和29年文化財保護法が改正され、重要無形文化財国家指定の制度が設けられた。そして国が指定した工芸技術の保持者(人間国宝)を中心として日本工芸会が結成され、昭和30年から日本伝統工芸展が開催されている。この鳥取展では、工芸各分野の秀作104点を選抜して、わが国の優れた伝統工芸を紹介した。

展示内容

陶芸 35点 染織 25点 漆芸 19点
金工 14点 木竹工 6点 人形 3点
ガラス 2点
入館者 5,226人



(2) 鳥取県美術展

主 催 鳥取県教育委員会

会 期 昭和48年11月17日（土）～11月22日（金）

会 場 第1展示室、第2展示室、第3展示室

県内在住者を対象に、日本画、洋画、版画、彫刻、工芸、書、写真の7部門にわたって一般公募して審査を行ない、入選作品と招待作品の240点を展示した。

展示点数

区 分	入選	招待	計
日 本 画	24	9	33
洋 画	20	44	64
版 画	4	7	11
彫 刻	5	5	10
工 芸	13	4	17
書	37	26	63
写 真	33	9	42
計	136	104	240



県展選抜展出品作品

洋 画 亀田正一（調理場一隅）

工 芸 桑原岩造（提 籠）

書 船原濤軒（黄 哲 詩）

写 真 泉 豊彦（孫とねこ）

入館者 4,163人

(3) 鳥取大学開学記念美術展

主 催 鳥取大学

会 期 昭和48年6月13日（水）～6月18日（月）

会 場 第3展示室

第23回目の開学記念日（6月1日）の記念行事として開かれた。

展示内容

絵 画 72点 彫 刻 4点

入館者 5,251人

(4) スペイン版画全貌展

主 催 日本海新聞社

会 期 昭和48年9月1日（土）～9月24日（月）

会 場 第1展示室、第2展示室、第3展示室

展示点数 版 画 360点

入館者22,539人

(5) 正風遠州流のいけばな全国展

主 催 遠州流華道会本部
正風遠州流いけばな展実行委員会
会 期 昭和48年10月26日(金)～10月28日(日)
会 場 第1展示室、第2展示室、第3展示室
展示点数 300点
入館者 10,060人



(6) 中国碑刻拓本展

主 催 日本海新聞社
会 期 昭和48年11月1日(休)～11月7日(休)
会 場 第1展示室、第2展示室
展示内容
密県画像石 10点
南陽画像石 38点
碑 34点
洛陽龍門造像題記 48点
墓 志 22点
計 152点

(7) 二科展

主 催 日本海新聞社
会 期 昭和48年11月23日(金)～11月27日(火)
会 場 第1展示室、第2展示室、第3展示室
展示点数
洋画、彫塑、商業美術、写真、400点
入館者 5,775人



(8) 現代工芸美術中国部会展

主 催 現代工芸美術家協会中国部会
会 期 昭和48年12月2日(日)～12月9日(日)
会 場 第3展示室
展示内容
陶芸 31点
染織 19点
漆芸 6点
竹工 1点
七宝 4点
人形 2点
硯 1点
鋳 1点
計 65点

(9) 鳥取県高等学校美術展

主 催 鳥取県高等学校教育研究会美術部会

会 期 昭和48年2月15日(金)～2月21日(木)

会 場 第2展示室

展示内容

絵画 103点、工芸・デザイン17点

入館者 2,333人



(10) 鳥取県高等学校書道展

主 催 鳥取県高等学校教育研究会書道部会

会 期 昭和48年2月15日(金)～2月21日(木)

会 場 第3展示室

展示点数 109点

入館者 1,986人



(11) 第28回行動美術展・伊谷賢蔵遺作展

主 催 日本海新聞社

会 期 昭和49年3月15日(金)～3月24日(日)

会 場 第1展示室、第2展示室

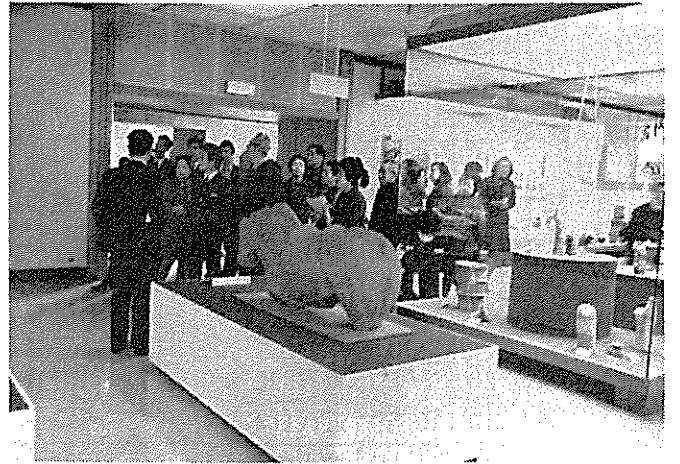
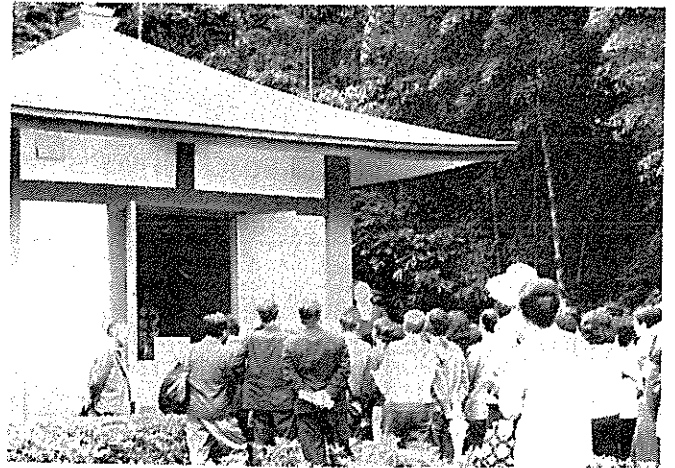
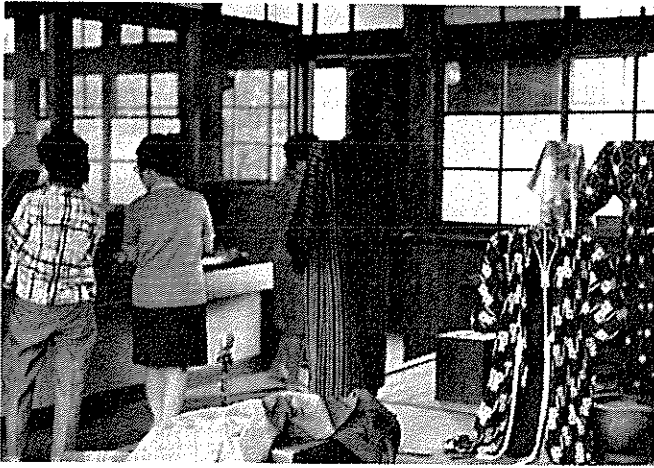
展示点数

行動美術99点、伊谷賢蔵遺作45点

教育普及活動実施状況

博物館活動の一環として館内外において、天体観望会、観察・見学会、講習・講演会、映写会を開催した。

事業名	月 日	内 容 : 場 所	講 師 等	参加者
天体観望会	5.26(土)	春の星座観望会 当館前	学芸係長 山名巖他1名	45
	7.28(土)	夏の星座観望会 〃	〃 〃	160
	9.11(火)	名月を見る会 〃	〃 〃	70
観察・採集会	5.10(木)	野鳥の声を聞く会 鳥取市梶谿	学芸員 清末忠人 山本賢二	80
	8.7(火)	化石採集会 若桜町春米	学芸係長 山名巖他2名	22
	10.6(土)	秋に鳴く虫の声を聞く会 鳥取市梶谿	学芸員 清末忠人 山本賢二	36
見学会	5.20(日)	八頭地区史跡めぐり 郡家～八東町	〃 治部田史郎他2名	103
	6.3(日)	但馬路を訪ねて 但馬地方	〃 5名	48
	9.15(祭)	浜がすりを訪ねる会 米子市	〃 鶴田憲弥	8
	10.28～29 (日)(月)	出雲路を訪ねる会 出雲地方	〃 2名	36
標本の名前を調べる会	8.23(木)	標本の名前を調べる会 当館	学芸員他 9名	97
講演会	5.6(日)	伝統工芸について 当館	京都近美 鈴木健二	120
	9.9(日)	地震の話 〃	京大、鳥微震 西田良平	100
	10.7(日)	世界的視野からみた日本の蝶 〃	大阪自然史博 日浦勇	109
	10.10(祭)	近代日本の美術 〃	東京近美 三木多聞	55
	10.14(日)	郷土の美術 〃	当館協議会委員 川上貞夫	40
講座	6.17(日)	スライドでみる海辺の生物たち 〃	学芸員 清末忠人	37
	7.15(日)	夏泊の海女のはなし 〃	〃 鶴田憲弥	28
	9.2(日)	オオサンショウウオの話 〃	〃 山本賢二	60
	11.11(日)	鳥取県の古墳について 〃	〃 治部田史郎	29
	12.2(日)	鳥取県の化石の話 〃	〃 山名巖	16
	2.19～20	展示解説 〃	〃 4名	52
映写会	5.6(日)	映写会(生きている海岸線、姫路城)		75
	5.13(日)	〃(伝統工芸)		120
	6.10(日)	〃(蜂の生態)		67
	7.8(日)	〃(ペリカンの島、砂漠の生き物)		32
	8.5(日)	〃(銀河系を探る。月を写せ)		61
	9.16(日)	〃(黄金の国々、海を陸地に)		120
	10.21(日)	〃(地球磁気、ハワイキャラウと火山他)		96
	11.4(日)	〃(ジカバチモドキの観察、水鳥の生活)		40
	12.16(日)	〃(大さんご礁の生物、日本ザル)		25
	1.6(日)	〃(みのりの大地、音速に近づく)		13
	1.13(日)	〃(飛鳥の美術)		30
	2.3(日)	〃(平安の美術、日本の古墳)		60
	2.10(日)	〃(秋吉台の生物、和鋼風土記)		33
	3.3(日)	〃(浮世絵、松田権六のわざ)		109
3.10(日)	〃(オトシラミの観察、世界の船をつくる)		65	
資料貸出し		市町村の文化祭等の文化活動に貸出し4回		



◎第6回全国博物館学芸職員研究集会（自然史）の開催

6月19日～21日の3日間、当館において社団法人日本博物館協会と鳥取県教育委員会の主催で全国の博物館学芸職員の自然史部門に関する研究集会が行われた。参加者46名、主な内容は次のとおりである。

- ・ 鳥取県立博物館の展示概要（自然史を中心として）を発表、その後見学案内
- ・ 研究発表—シンポジウム「環境と博物館」、発表数5件
- ・ 自然観察会—鳥取砂丘、駟馳山、南田、雨滝

調査研究活動

調査研究

分野	事項
地学	鳥取平野地下の化石群集の調査および研究 県内に分布する火山岩類の岩石学的調査
生物	鳥取県に分布する暖地性シダの分布と生態の考察 鳥取県初記録となったヤマショウビンをめぐる分布と生態の諸問題 山陰海岸における微小貝の個体密度について
考古	県内出土の縄文式土器の調査研究 民間に所有されている考古資料の調査
民俗	泊村の魚具調査 県内でみられた人の一生、に関する儀礼の文献調査
美術	特別展「郷土美術展」、49年度特別展「前田寛治とその仲間」及び常設展示のための美術資料の調査研究
史料	在方資料（岩美町銀山山口家文書）、武家文書（河田佐久馬、和田家文書、菅家文書）の調査研究

研究報告書等の刊行

名 称	規 格	ページ数	備 考
郷土と博物館（郷土と科学改題）第19巻第1号	A 5	32	} 定例年2回
〃 〃 第2号	〃	28	
研究報告 第11号	B 5	32	定例年1回
所蔵資料目録（昆虫）第10号	A 5	29	} 定例
〃（民俗資料）第11号	〃	26	
博物館年報（昭和47年度）No.1	B 5	46	

博物館資料の概況

イ、博物館資料保有状況（昭. 49. 3. 31現在）

	区分	(48. 3. 31) 現 在 保 有 点 数	4 8 年 度 増 加 数				48. 4. 1 ~ 49. 3. 31 減 少 数	49. 3. 31 現 在 保 有 点 数
			購 入	寄 贈	採 集	保 管 換		
保 有 資 料 内 訳	地学	3,004	81	20	38			3,143
	動物	10,029	1,062	113	132			11,336
	植物	4,920	5		242		908	4,259
	考古	2,395	2	33		27		2,457
	民俗	771		26	11		12	796
	美術	18	1	8		12		39
	史料	23,465	592	13		3,369		27,439
	その他	109				13		122
合 計		44,711	1,743	213	423	3,421	920	49,591